取扱説明書	RN-A246P-CHLA <RTS-400NFH-L> 1671 1673 RN-A246P-CHRA <RTS-400NFH-R> 1671 1673	1886 3885	13011

ガステーブル

天ぷら油過熱防止機能付

家庭用

取扱説明書

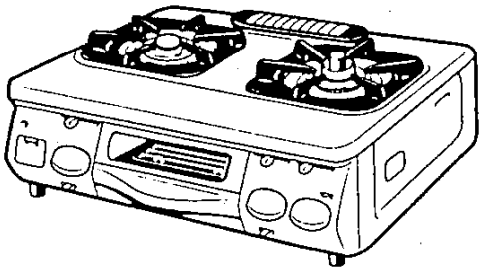
保証書付

品名 RN-A246P-CHLA
機器コード…1671886
RN-A246P-CHRA
機器コード…1673885

形式の呼び RTS-400NFH-L RTS-400NFH-R

あげルック

よく読んで
安全に正しく
お使いください。



もくじ

	ページ
安全上のご注意（必ずお守りください）	1·2·3·4·5·6
特長	7
各部のなまえ	8
機器の設置	9·10·11
コンロ・グリルの使いかた	12·13·14·15
各装置·電池交換サインについて	16
お手入れのしかた	17·18·19
長期間使用しない場合	19
故障かな？と思ったら	20
アフターサービス	21
仕様	21
保証書	22

ご愛用の皆様へ
このたびはガステーブルをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ご使用の前にこの取扱説明書を最初から最後までお読みいただき安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書はP22が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、保証書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が縮まります。
- この製品は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにて再購入してください。

TOKYO GAS

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

〈安全に正しくお使いいただくために〉
この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください。

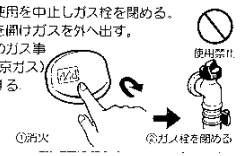
⚠危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

■ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する

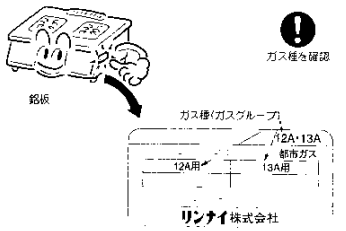
①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③もよりのガス事業者（東京ガス）へ連絡する



⚠警告

■必ず銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）を使用する

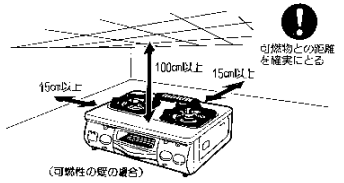
供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。
供給ガスがわからない場合はお買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスに問い合わせてください。
転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。



⚠警告

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

距離が近いと火災の原因になります。（火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。）
可燃物との距離が守れない場合は必ず防熱板を取付けてください。（P9参照）
また表面がステンレス板やタイルの場合でも内部が可燃性の場合は必ず防熱板を取付けてください。



■設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

■機器の下に新聞紙やビニールシートなど可燃物を敷かない また周辺に可燃物を置いたり可燃性のガスを近くで使用しない、置かない

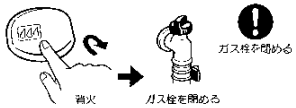
引火して火災・爆発をおこすことがあります。
カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、ふきん・スプレー缶・ベンジンなどを近くに置かないでください。

■火をつけたまま、その場を離れたり、就寝・外出をしない

調理ものが異常過熱し火災の原因となります。
とくに揚げもの調理をしているときは離れないでください。離れるときは必ず消火してください。

■地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する

あわてずにガス栓を閉めてください。
故障かな？と思ったら（P20）を参照してください。

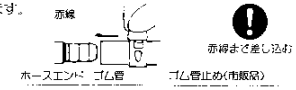


■内径9.5mmφのガス用ゴム管（ソフトコード）以外は使わない ひび割れたゴム管、古いゴム管は使わない

ガス漏れの原因となります。
ゴム管はJISまたは検査合格マークの入ったものを使用してください。ビニール管は絶対に使わないでください。
ときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。

■ゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線まで確実に差し込みゴム管止めで止める

ガス管が抜け、ガス中毒やガス爆発の原因になります。

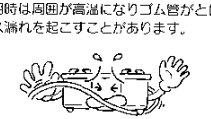


■ガスコードを使用する場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って接続する

間違った接続はガス漏れの原因になります。

■ゴム管は機器に触れたり、下を通さない またグリル排気口や炎に近づけない

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。



■ゴム管の継ぎたし、二又分岐はしない

ガス漏れや使用誤りなどで危険な場合があります。

3 安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

■グリル排気口をふさがない

グリル排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。

禁止

■使用後は消火を確認しガス栓をしめる

消し忘れによる火災の原因になります。
特にグリル使用時は注意してください。

ガス栓を閉める

■チャオバーナー側を壁側に設置しない

壁側の火災を防止するため標準バーナー側を壁面になるように設置してください。

禁止

■お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない

ガス漏れや故障の原因になります。

分解禁止

⚠注意

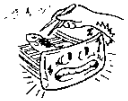
■グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり発火する原因になります。

禁止

■魚の裏返しや取り出し時などは、グリルとびらガラスやグリルとびら上端に触れない

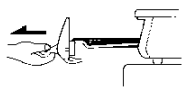
手や腕が触れるとやけどをすることがあります。



接触禁止

■グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に

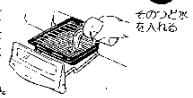
水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを持ち上げたまま引き出すと途中でとまらずに落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。



ゆっくり確実に

■グリル水入れ皿には必ず水(約200㎖)を入れて使う また、たまった脂は取り除く

水がない場合はたまった脂が過熱されて発火することがあります。続けて使用する場合も、そのつど脂を取り除き水を入れてください。なお水以外のものは、入れないでください。



そのつど水を入れる

■グリル排気口をのぞきこまない またなべの取っ手をグリル排気口に向けない

グリル使用時は排気口から高温の排気がでます。やけどをしたり、取っ手をこがす原因になります。

禁止

■グリルとびらガラスに水をかけない 衝撃を加えない 傷をつけない

ガラスが割れてけが、やけどの原因になります。また、とびらが変形したり、閉まらなくなります。

禁止

⚠注意

■グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する

食品くずやふきんが燃えることがあります。

確認する

■グリル水入れ皿の持ち運びはていねいに

使用中・使用直後はグリル水入れ皿の水は高温になっていますので、こぼすとやけどをする原因になります。

禁止

■グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない

グリルとびらが落下し、やけどやけがをすることがあります。
必ずグリルとびら取っ手を持って取り外してください。

禁止

■コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない

炎や熱で衣服に燃え移ったり、やけどの原因になります。

禁止

■グリルとびらに重いものをのせたり、強い力を加えない

グリルとびらがはずれ、けがや機器破損の原因になります。

禁止

■使用中、使用直後は操作ボタン、つまみ、グリルとびら取っ手以外はさわらない

やけどをすることがあります。
とくに幼いお子様がいる家庭ではご注意ください。

接触禁止

■棚の下など落下物の危険のある所に機器を設置しない

機器の上に落ちた物が燃え火災の原因になります。

禁止

■強い風の吹込む場所に機器を設置しない

機器内部の焼損や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。また点火不良の原因にもなります。

禁止

■アルミはく製しる受け皿を使用しない

炎が接触し異常過熱や不完全燃焼の原因になります。
また点火不良や途中消火の原因にもなります。

禁止

■不安定な場所に設置しない

機器が傾いてなべなどがすべり落ち、やけどやけがをする原因になります。

禁止

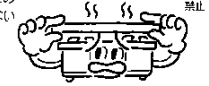
■衣類の乾燥や練炭の火起こしなど調理以外の用途に使用しない

異常過熱し火災や機器焼損の原因になります。

禁止

■コンロをおおうような鉄板などは使用しない

不完全燃焼や異常過熱し火災や機器焼損の原因になります。
直径34cm以上のなべは使用しないでください。



禁止

5 安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

■ごとくをはずしてなべなどを直接コンロに置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損の原因になります。 禁止

■車両・船舶では使用しない
使用中に機器が傾いたりして、火災やけがをする原因になります。 禁止

■使用中は換気をする
一酸化炭素中毒の原因になります。
ただし、自然排気式給湯器およびふろ釜を使用している場合は、換気扇を回さないで窓をあけて、換気をしてください。
換気扇を回すと排気ガスが逆流することがあります。

■しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない
バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。 禁止

■点火するときはバーナー付近に顔などを近づけない
炎や熱でやけどをすることがあります。 禁止

■やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いとやかんやなべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。 なべなどの大きさに合わせて火力調節

■バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする
炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。 水を切る

■機器本体内部をお手入れする場合、各部品の突起物などに注意する
強く当たった場合、手などにけがをする場合があります。 必ず手袋をしてお手入れする

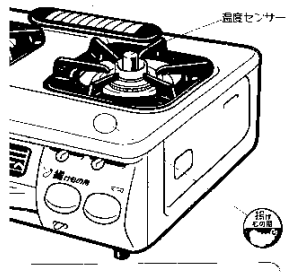
■幼いお子様に触れさせない 使わせない
やけどやけがをする恐れがあります。 禁止

■指定以外の補助具は使用しない
不完全燃焼や異常過熱により火災や機器焼損の原因になります。 禁止

天ぷら油過熱防止機能付バーナーについて

揚げもの調理で、消し忘れ等による調理油の過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。

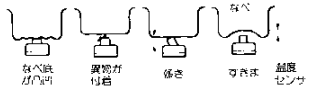
※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のように前面パネルに揚げもの用と表示してあり、トッププレート上面には の表示がしてあります。

チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）


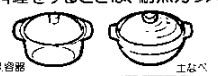
⚠注意

■揚げもの調理をされるときは、必ずチャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用する 確認

⚠警告

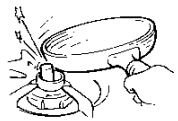
■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない
そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。 禁止


■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で使用する調理油の量は200㎖以上で行う
調理油の量がはじめから少なかったり、減ってきたりすると発火することがあります。

■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で油料理をするときは、耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない
調理油が発火することがあります。 油料理禁止


⚠注意

■温度センサーは、上下にスムーズに動くことを確認する
なべ底に密着しなくなり調理油が発火する場合があります。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因にもなります。

■温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない
なべ底にセンサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。 禁止


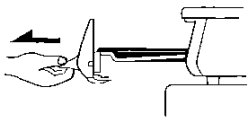
■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）では、中華ごとく（別売）を使用しない
なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。 禁止

7 特長

立消え安全装置
煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

天ぷら油過熱防止機能
天ぷら・フライなどの揚げもの調理中で、消し忘れ等による調理油の異常過熱を防止します。
(チャオバーナー)

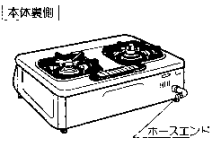
グリルとびら

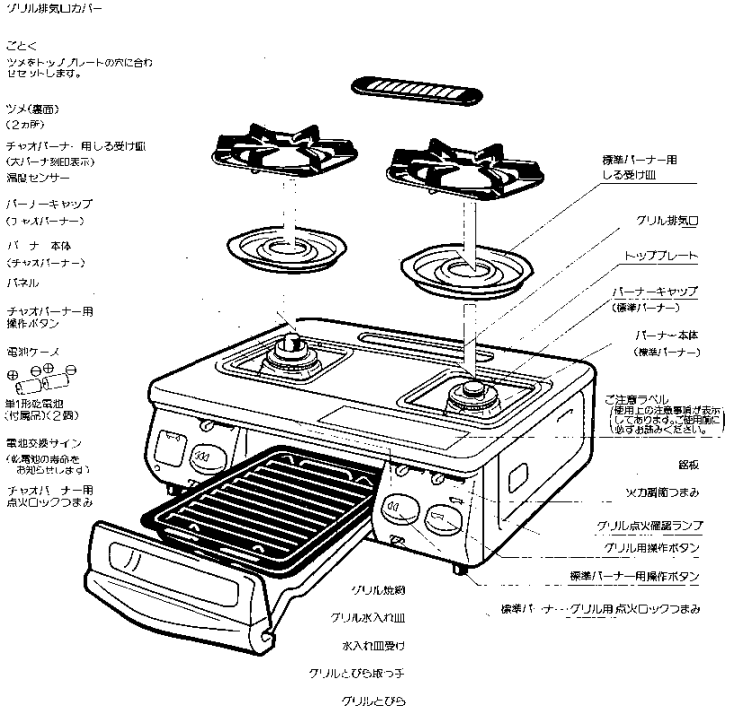


グリルとびらを引き出すとグリルとびらが下がり魚の返し、取り出しがカンタン。また、グリルとびらがワンタッチで脱着でき、お手入れがしやすくなりました。

各部のなまえ 8

図のように正しくセットしてください。
図はRN-A246P-CHLAです。
RN-A246P-CHRAはチャオバーナーと標準バーナーが左右逆になっています。

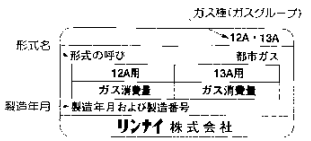




9 機器の設置

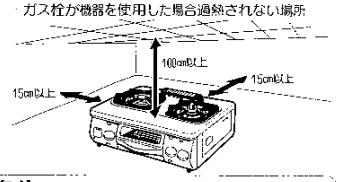
設置前の準備と確認

・形式の呼び・ガス種・製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。
・機器銘板のガス種（ガスグループ）と使用ガスが合っているか確認します。
・輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。
・付属品の単1形乾電池（2個）が同梱されています。



設置場所及び周囲の防火措置

■次のような場所に設置してください。
・強い風の吹き込まない場所
・丈夫で水平な場所
・落下物の危険のない場所
・付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
・機器の上に樹脂製の照明器具のない場所
機器の上に温洗器のない場所
・ガス栓が機器を使用した場合過熱されない場所



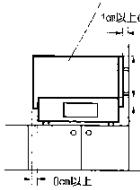
■周囲に可燃物（木製の壁、たなど）のある場合はつぎのように設置してください。
・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。

⚠警告

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す
■設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す
■チャオバーナー側を壁側に設置しない

■可燃性の壁（モルタル、タイル、ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上、また、上部はトッププレート上面から100cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。

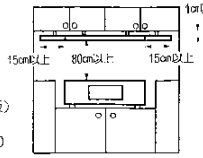
（後壁用防熱板）
RB-60B
幅600×高さ550
×厚み19mm



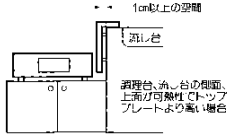
（側壁用防熱板）
RB-55S
幅550×高さ550
×厚み19mm

（天井用防熱板）
RB-15T
幅150×奥行550
×厚み10.5mm

（天井用防熱板）
RB-60T
幅600×奥行550
×厚み10.5mm



（流し台・調理台用防熱板）
RB-50S
幅450×高さ150×奥行600
×厚み19mm

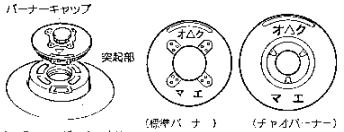


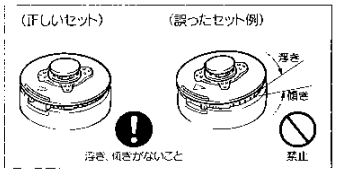
お願い
●防熱板についてはお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにお問い合わせください。
●指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。

部品の取り付け

バーナーキャップ

「オク」印を奥側にして、バーナーキャップの突起部をバーナー本体のヘコミに正しくはめ込みます。バーナーキャップが浮いたり傾いたりしていると炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合もあります。

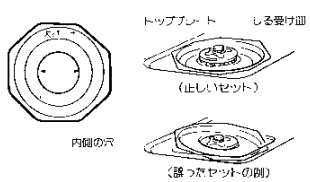




お願い　バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり変形して炎が不ぞろいになった場合は交換が必要ですのでもよりの販売店へご相談ください。

しる受け皿

内側の穴の大きい方（大バーナ刻印）がチャオバーナー用、小さい方が標準バーナー用です。



炎がしる受け皿に接触しないことを確認

⚠注意

■しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない
バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。
■アルミはく製しる受け皿を使用しない
炎が接触し異常過熱や不完全燃焼の原因になります。
また点火不良や途中消火の原因になります。

単1形乾電池2個（付属品）

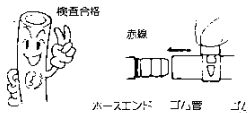
電池ケースは機器前面の左側にあります。
必ず、＋と－を確認して、乾電池をセットし電池ケースをしっかりと押し込んでください。

お願い
・乾電池の寿命は、乾電池の種類によっても異なりますが、通常約1年を目安としてください。乾電池は必ず2個とも同種類の新品をご使用ください。
・付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

11 機器の設置

ゴム管の接続

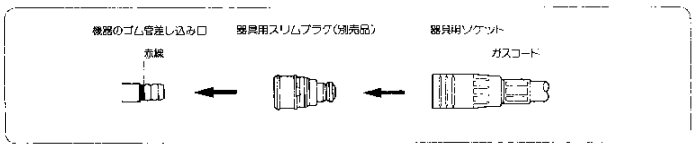
ゴム管はガス用ゴム管（内径9.5mmφ、JISマーク入り）を用い、折れたりねじれたりしないようにして、できる限り短く（2m以下で適当にゆとりをもたせる）ガス栓と機器のホースエンドとを接続します。このときゴム管は赤線までしっかり差し込みゴム管止めで固定してください。また機器に触れないようにして接続します。



ガスコードなどでコンセント接続する場合

ガス機器側の接続

機器のゴム管差し込み口をコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合



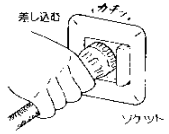
上図のように、先ず別売の器具用スリムプラグを器具用プラグ個包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って機器のゴム管差し込み口に取付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで押し込みます。

ガス栓側の接続

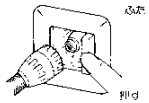
「ガスコンセント」は、ガスコードなどを取付けると自動的に開栓し、取外すと自動的に閉栓します。

◆ふたを開ける
ふたの右端を押します。

◆取付ける
“カチッ”と音がするまで差し込みます。



◆取外す
右端にあるふたを押します。

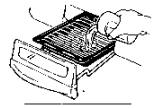


コンロ・グリルの使いかた 12

※使用するバーナーの操作ボタンを間違えないでください。

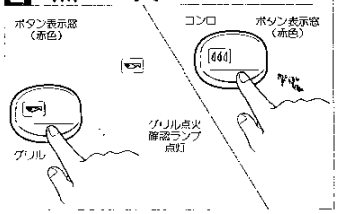
1 準備

（グリルを使う場合のみ）



グリル水入れ皿に必ず水（約200mℓ）を入れる

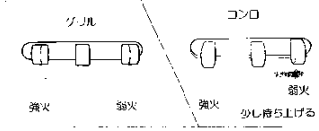
2 点火



- 操作ボタンをいっぱいまで押します。
  途中で操作ボタンから手を離すと点火しません。
- バーナーへ火移りしたことを確かめてから数秒間（立消え安全装置が働くまで）そのまま押し続けてください。
- 火力調節つまみの位置が「弱」のとき操作ボタンを押すと「強」の方向に移動します。
- 点火時は全バーナーとグリルが同時に「パチパチ」と放電する構造ですので異常ではありません。

お願い　万一、点火しないときは操作ボタンを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする。

3 火力調節



- 火力調節つまみを左右にゆっくりスライドさせ火力を調節します。
- 〈グリル〉焼き具合は火力の強・弱、グリル焼網の高低で調節してください。
- 〈コンロ〉弱火にした時、バーナー中央に近い穴の火が消えることがありますが、異常ではありません

⚠注意

鍋やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。

4 消火

- 操作ボタンを押して消火します。
- 必ず火が消えたことを確認してください。

お願い　幼いお子様のいたずらによる火災防止やガス漏れ防止のため、機器から離れるときは念のためお部屋のガス栓を閉めてください。

13 コンロ・グリルの使いかた

コンロ

調理方法によるコンロバーナーの選びかた

■標準バーナー

焼きもの料理や炒めもの料理など、高温を必要とする調理、煮もの料理、冷凍食品の再加熱。

■チャオバーナー 天ぷら油過熱防止機能付

天ぷら、フライなど揚げもの調理、煮もの調理に使用します。

お願い 天ぷら油過熱防止機能が付いたチャオバーナーは、設定温度になると自動消火します。このため焼きもの料理や炒めもの料理など高温を必要とする料理では、途中で消火してしまうことがあります。また冷凍食品（うどん・そばなどのなべ付の冷凍インスタント食品、カレー・シチューなどのなべごと凍らせた場合など）は、温度上昇が遅いため温度センサーが正しく機能しないことがありますので標準バーナーをお使いください。

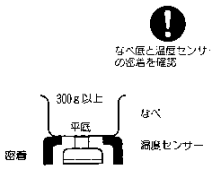
チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）の正しい使いかた

調理油の量

200mℓ以上で使用してください。少ないと発火することがあります。

なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。



適度センサーに適したなべ

なべなどの種類	油料理	その他料理（煮物など）	備考
鉄、アルミ製（なべ、天ぷらなべ、フライパン）	○	○	調理油の量が200mℓ以下の場合発火することがあります。
ステンレス、ホーロー製（なべ、フライパン）	×	○	調理油の量が200mℓ以上でも発火する場合があります。
ステンレス、ホーロー製（中華なべ、打ち出しなべ）	×	○	調理油の量が200mℓ以上でも発火する場合があります。
耐熱ガラス容器、土なべ	×	○	油料理には適していません。発火する場合がありますので使用しないでください。
無水なべ（圧力なべ、多層なべ）— 無水料理	／	○	調理油の量が200mℓ以上でも発火する場合があります。また、無水料理において消火する場合がありますので標準バーナーをご使用ください。
無水なべ（圧力なべ、多層なべ）— 無水料理以外	×	○	調理油の量が200mℓ以上でも発火する場合があります。また、無水料理において消火する場合がありますので標準バーナーをご使用ください。
焼網	／	×	消火する場合があります。グリルを使用してください。

○：適する　×：適さない

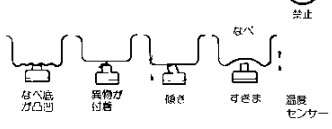
⚠注意

■揚げもの調理されるときは、必ずチャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用する

⚠警告

■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない

そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。



■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で使用する調理油の量は200mℓ以上で行う

調理油の量がはじめから少なかったり、減ってきたりすると発火することがあります。

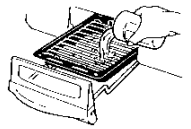
お願い コンロバーナーで焼網・鉄板などを使用しますとトッププレート、しる受け皿などが変色したりしますので使用しないでください。またトッププレートはフッ素コートされていますのでフッ素コートがはがれることがあります。

グリル

グリルを使用する前に

はじめて使用するときはから焼きが必要

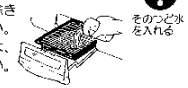
工場出荷時の加工油を焼ききるためグリル水入れ皿に必ず水（200mℓ）を入れて、約15分ぐらいから焼きをしてください。この時、煙がでますが異常ではありません。



⚠注意

■グリル水入れ皿には必ず水（約200mℓ）を入れて使う　また、たまった脂は取り除く

水がない場合はたまった脂が過熱されて発火することがあります。
続けて使用する場合も、そのつど脂を取り除き水を入れてください。
なお水以外のものは、入れないでください。



■グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する

食品くずやふきんが燃えることがあります。

15 コンロ・グリルの使いかた

グリルで上手に焼くには

グリル焼網の高低

裏表で焼網の高さが変えられます。焼き物の大きさ、種類により高低を選んでください。

予熱が必要

あらかじめ3~4分予熱しておくときれいに焼きあがります。

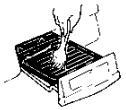
つけ焼き・照り焼きなどのこげつきやすいもの、火の通りの悪い身の厚い魚などは、予熱せずに焼いてください。

魚の尾やヒレは?

こげやすい魚の尾やヒレはアルミはくで包んだり、厚めに塩をふりかけたりします。

グリル焼網に油

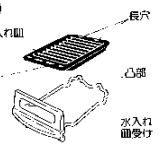
グリル焼網にサラダ油などを塗っておくと、焼き上がり後材料が焼網に付着しにくく取り出しやすくなります。



グリル水入れ皿の出し入れ

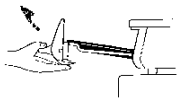
正しいセットのしかた

水入れ皿受けの凸部をグリル水入れ皿の長穴に入れてセットします。



取り出すとき

グリル水入れ皿を取り出すときは、グリルとびらをはまるところまでいっぱいに引き出してから、そのまま持ち上げて取り出します。



引き出すとき

グリルとびらを止まるところまでいっぱいに引き出すと、グリルとびらだけが下がり、焼き物の出し入れ・反転・確認が簡単に行えます。

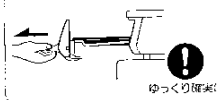
持ち運ぶとき

グリルとびら取っ手をしっかりと持ち、水平にゆっくり持ち運んでください。

⚠注意

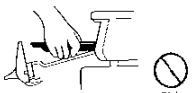
■グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に

水平にゆっくり出し入れしてください。
グリル水入れ皿を持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。



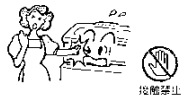
■グリル水入れ皿だけを持って取り外さない

グリルとびらが落下し、やけどやけがをすることがあります。
必ずグリルとびら取っ手を持って取り外してください。



■使用中・使用直後は、操作ボタン・つまみ・グリルとびら取っ手以外はさわらない

やけどをすることがあります。
とくに幼いお子様がいる家庭ではご注意ください。



各装置・電池交換サインについて 16

立消え安全装置

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

●立消え安全装置が作動したら

使用中、火が消えたときは?

すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。

安全装置が働いてもガスが止まるまですこし時間がかかります。

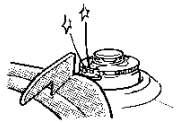
再点火するときは?

周囲にガスがなくなるまでしばらく待って、立消え安全装置(炎検知部)の汚れをふきとってからご使用ください。

お願い

●立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底についた水滴はふきとってから、ごとくの上にのせてください。(煮こぼれにも注意してください)

●立消え安全装置(炎検知部)に固いものをぶつけないでください。まがったり、変形し点火しにくくなります。



天ぷら油過熱防止機能(チャオバーナーのみ)

揚げもの調理で、消し忘れ等による調理油の過熱を防止する機能です。

●天ぷら油過熱防止機能が作動したら

使用中、火が消えたときは?

すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。

再点火するときは?

なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。熱いなべをのせたまま、再点火すると消火する場合があります。

アドバイス

●ウインナー、ポークソテー、ホイルのつつみ焼きなど、から焼きに近い料理は早切れすることがあります。火力を絞るか、なべの中央部などセンサーの位置に材料を置くと早切れを防ぐことができます。

●かきもち揚げなど高温で長時間使用する調理は、早切れすることがあります。

●野菜いためやチャーハンなど、なべをふる料理で、あまり長くふると早切れすることがあります。なべをふる時間を短くしてください。

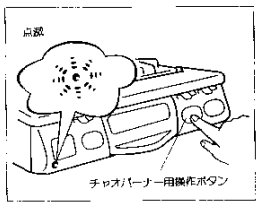
電池交換サイン

乾電池の交換時期が近づくとお知らせする電池交換サインが付いています。点滅したら新しい乾電池を用意し、点灯に変わったら交換してください。(P10参照)

●点滅から点灯に変わるとチャオバーナー(天ぷら油過熱防止機能付)は使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。(但し、「パチパチ」と放電すれば標準バーナーとグリルは使用することができます。)

●電池交換サインは、チャオバーナーの操作ボタンを押したときだけ作動します。他の操作ボタンを押したとき、乾電池の容量が少なくなっていても点滅や点灯はしませんのでご注意ください。

●乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池に全く容量がなくなったときは、電池交換サインは点灯しません。この場合、放電スパークの「パチパチ」音がしませんので、ただちに乾電池を点検してください。



17 お手入れのしかた

⚠警告

点検・お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり、修理・改造は行わない

ガス漏れや事故の原因になります。

分解禁止

お願い
- ●点検・お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ●けがをしないように手袋などをはめて行ってください。
- ●機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。

●日常の点検

- ■機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか
- ■バーナーキャップ、しる受け皿などは正しくセットされていますか
- ■グリル水入れ皿に脂がたまっていませんか
- ■ゴム管の接続は確実ですか
- ■ゴム管は傷んでいませんか
- ■立消え安全装置が汚れていませんか
- ■バーナーが煮汁などでつまっていませんか

●お手入れ

お願い
- ●機器本体には安全に関するご注意ラベルが貼付してあります。汚れたときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。
  もしはがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスで新しいラベルを再購入のうえ、貼り替えてください。

使って良いもの

使っていけないもの

機器本体・ごとく・しる受け皿・トッププレート

- ■表面が汚れたらそのつど濡れふきんでふきとってください。
- ■汚れのひどいとき
  台所用中性洗剤を含ませたスポンジたわし・やわらかい布でお手入れし最後に乾いた布でふきとります。
- ■汚れがおちないとき
  台所用中性洗剤で汚れた部分を湿らせておき、お手入れした後水洗いし乾いた布でふきとります。

※フッ素コートトッププレート

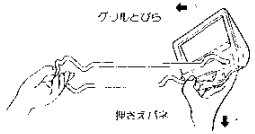
お願い
- ●汚れたまま使用しているとシミが残りますので、こまめにお手入れしてください。
- ●台所用中性洗剤以外の洗剤やかたいものでお手入れするとフッ素樹脂がはがれたり、シミや色が変わる原因となりますので使用しないでください。

グリル水入れ皿・グリルとびら・水入れ皿受け

中性洗剤で洗って乾いた布で水気をふきとってください。

取り外しかた

①押さえバネを⬇の方向に下げる。
②グリルとびらを⬅の方向にたおす。

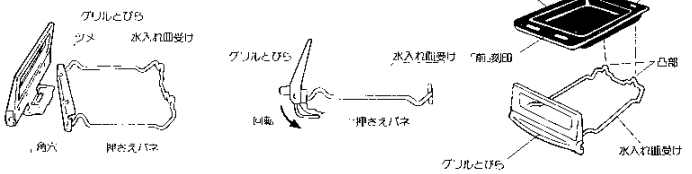


取り付けかた

①水入れ皿受けのツメ2ヵ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。

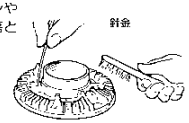
②への方向にグリルとびらを回転させる。
押さえバネが水入れ皿受けに確実にはまっているか確認する。

③水入れ皿受けの凸部をグリル水入れ皿の長穴に入れてセットします。



バーナーキャップ

炎が不ぞろいになったときは炎口をブラシや針金などで汚れを落としてください。



⚠注意

■バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする

炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。

水気を切る

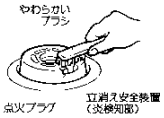
お願い
- ●掃除後は正しくセットし、正常に燃焼することを確認してください。(P10参照)
- ●バーナーキャップの黒い部分（炎口は除く）は中性洗剤、スポンジたわしで洗ってください。中性洗剤以外の洗剤やかたいものでお手入れするとはがれる場合があります。万一、黒い部分がはがれても使用にさしつかえありません。そのままご使用いただけます。

19 お手入れのしかた

立消え安全装置・点火プラグ

点火プラグ・炎検知部に汚れがこびりついている部分は歯ブラシなどのやわらかいブラシで汚れを落としてください。

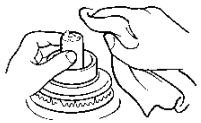
お願い　かたいブラシなどで決してみがかないでください。故障の原因となります。



温度センサー

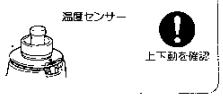
温度センサーの頭部についた煮汁やゴミは、布を水に浸しかたくしぼってからふきとってください。

お願い　ふきとる場合は温度センサーを手でささえてください。



⚠注意

■温度センサーは上下にスムーズに動くことを確認する
なべ底と密着しなくなり
調理油が発火する場合が
あります。



長期間使用しない場合

●お部屋のガス栓を必ず閉めてください。
●乾電池を外しておく。
●お手入れしておくと、次回使用するときに便利です。

故障かな?と思ったら

20

調べてみると故障でない場合がよくあります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

現象	原因	処置	参照ページ
点火しない	ガス栓の開き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。	P12
	バーナーキャップの取り付け不良	正しくセットしてください。	P10
	乾電池が入っていないまたは正しくセットされていない	正しくセットしてください。	P10
	電池ケースが確実に差し込まれていない	確実にセットしてください。	P10
	温度センサー付バーナー　温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。	P16
	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。	—
	ガス栓の開き不十分	お部屋のガス栓を全開にしてください。	P12
点火しにくい	配管中に空気が残っている	点火操作を繰り返してください。 ※はじめての場合は点火するまでしばらく時間がかかります。	P20
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直す。	P11
	バーナーキャップの取り付け不良	正しくセットしてください。	P10
	バーナーキャップの炎口つまり	炎口を掃除してください。	P18
	点火プラグの水ぬれ・汚れ	水ぬれ・汚れをふきとってください。	P19
点火後しばらくして消火する（温度センサー付バーナー）	乾電池の消耗	新しい乾電池と交換してください。	P10
	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。	P16
	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。	—
異常音をたてて燃える	バーナーキャップの取り付け不良	正しくセットしてください。	P10
爆発的に点火する	バーナーキャップの取り付け不良	正しくセットしてください。	P10
使用中に消火しやすい	立消え安全装置部分の汚れ	立消え安全装置を掃除してください。	P19
黄炎で燃える	バーナーキャップの炎口つまり	炎口を掃除してください。	P18
炎が安定しない	バーナーキャップの取り付け不良	正しくセットしてください。	P10
調理中に消火する（温度センサー付バーナー）	使用なべの形状、材質が適していない	「チャイバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）の正しい使いかた」を参照。	P13・14

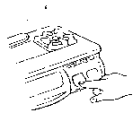
なお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

⚠警告

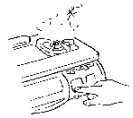
使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガス栓を閉めてください。

●はじめてグリルを使用しますとグリル内の加工油が焼けて煙がでます。グリル水入れ皿に必ず水（約200mℓ）を入れて約15分ぐらい、から焼きをしてください。

こんなときは異常ではありません



●点火しにくい
朝一番で使用するときやはじめて使用するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。点火操作を繰り返してください。



●消火の時、音がする
消火時に「ポン」という音がすることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。

21 アフターサービス

●修理を依頼されるときは	「故障かな？と思ったら」の項をご確認いただいても直らない場合、あるいはよくわからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご相談ください。修理依頼の際は、次のことをお知らせください。 (1) お名前・ご住所・電話番号・連絡（付近の目印等） (2) 品名…RN-A246P-CHLA　機器コード…1671886 RN-A246P-CHRA　機器コード…1673865 (3) 現象…できるだけくわしく (4) 訪問ご希望日
●保証について	取扱説明書の「22」が保証書になっています。必ず「販売店、お買い上げ日」などの記入をお確かめいただき、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できるときは、有料で修理いたします。（保証期間は、お買い上げ日から1年間です。ただし、一般家庭以外で使用される場合は除きます。）
●補修用性能部品の最低保有期限について	補修用性能部品最低保有期間は、当製品の製造打切後5年間となっています。（補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です）
●転居されるとき	ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、もよりの「東京ガス」または転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。
●アフターサービスなどについてわからないとき	お買い上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご連絡ください。 裏表紙の事業所一覧表を参照してください。

仕様

品名	RN-A246P-CHLA	RN-A246P-CHRA
型式名	RTS-400NFH-L	RTS-400NFH-R
種類	ガステーブル	
点火方法	連続放電点火式	
外形寸法	高さ213㎜×幅566㎜×奥行451㎜	
質量（本体）	10.5㎏	
ガス接続	9.5㎜φガス用ゴム管	
安全装置	立消え安全装置・天ぷら油過熱防止機能	
附属品	単1形乾電池（2個）・取扱説明書（保証書付）	

使用ガス	使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量 KW（kcal/h） 個別ガス消費量 チャオバーナー	標準バーナー	グリル	全点火時ガス消費量
都市ガス	12A	4.30kW (3700kcal/h)	2.50kW (2150kcal/h)	1.92kW (1650kcal/h)	8.49kW (7300kcal/h)
	13A	4.65kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	2.03kW (1750kcal/h)	9.07kW (7800kcal/h)

保証書

22

保証書

形式の呼び　RTS-400NFH-L / RTS-400NFH-R　　品名　RN-A246P-CHLA・RN-A246P-CHRAガステーブル

上記、機器お買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間はお買い上げの日から1年間とし機器本体を対象とします。附属品は対象外です。
(2) 上記期間内であっても次の場合には有料修理といたします。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合
(ロ) お買い上げ後の据付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(ハ) 火災、天災、他参等による故障、その他不可抗力による故障。
(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
(ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
(ヘ) 本証書を紛失された場合。
(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中でありましても、次の場合には有料修理といたします。
(5) 無料修理などアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの店または取扱説明書に記載してあるもよりの東京ガス本社、営業所にお問い合せください。

保証履行者　東京ガス株式会社　電話　代表　03(3[redacted])　〒105　東京都港区海岸1-5の20

保証責任者　リンナイ株式会社　電話　代表　052([redacted])　〒454　名古屋市中川区福住町2番26号

■修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

■お買上日及び販売店名

お買上日	平成　年　月　日
販売店名	取扱者印
住所	
電話番号	

お客様へ
1. この保証書をお受け取りになる際に、お買い上げ日、販売店名、捺印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理につきましては、取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

取扱説明書　RN-A246P-CHLA <RTS-400NFH-L>　RN-A246P-CHRA <RTS-400NFH-R>

1 1 6 7　1 6 7 3　1 8 8 5　1 3 1 2 1